

1. 教育計画

人体の構造と機能

分野	専門基礎分野 人体の構造と機能	科目名	解剖生理学Ⅲ
単位・時間	1 単位・15 時間	対象学年	2 年生
方法	講義・実習	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 古川 淳子 (14 時間)		
講師の実務経験	看護師として星総合病院に 19 年		
学習目標	1、「人体の構造と機能」の知識を人間の日常生活行動と結び付けて理解し、看護を实践する上での根拠への繋げ方を学ぶ。 2、解剖見学実習を通して観察力・思考力・判断力を養い、対象である人々のセルフケア能力を高めるための基礎的知識を養う。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①		
参考文献	日本看護協会出版会 看護 形態機能学 生活行動からみるからだ 第4版 日本看護協会出版会 看護 形態機能学ワークブック		
履修上の留意	・項目に合わせた解剖生理学復習ノートを持参すること。 ・4回～7回(8時間)は解剖見学実習(1日)となります。事前にオリエンテーションを行います。8月に福島県立医科大学へ行く予定です。また、解剖見学実習は志らぎく会のご献体から学ばせていただく実習となります。医療従事者としてご献体に敬意を払い、倫理的かつ慎み深い行動を求めます。		
講師からの メッセージ	「呼吸をする」「食べる」「排泄をする」などの生命の維持に欠かせない人間の生理的行動は、体のどの筋肉が使われて、どのような仕組みで行われているかイメージできますか？人体の一部が障害されると、どんな生活行動に支障が出るのかなどを具体的にイメージすることはできますか？1年次で学んだ「人体の構造と機能」の知識を土台として、日常生活行動や看護技術援助の根拠、病態の理解へと繋げていきましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1 2 3 4	8	解剖見学実習	1、解剖見学 2、展示室見学	実習	
5	2	日常生活行動と解剖生理の知識をつなげる (1)	1、生きているとはどういうことか 2、恒常性維持のための物質の流通と調節機構 3、息をする	講義	
6	2	日常生活行動と解剖生理の知識をつなげる (2)	1、食べる 2、トイレに行く 3、動く	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
7	2	日常生活行動と解剖生理の知識をつなげる (3)	1、眠る 2、お風呂に入る	講義	
8	2	評価	筆記試験		